

# うたづ議会だより

2012  
第42号  
5.1



## 宇多津幼稚園入園式(平成24年4月11日)

春は出会いの季節であり、桜の花が満開になろうとしている良き日に、49名の園児たちが入園しました。

やさしいお兄さんやお姉さんたちとともに楽しく健やかに過ごしてくださいね。

## Contents

平成24年第1回定例会 .....	2	~	4
一般質問 .....	5	~	8
議会報告 .....	9		
議会サミット .....	10		
おいでました・子ども議会 .....	11		
主な議会活動・編集後記 .....	12		

## 開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために様々な取り組みをしています。

## ご意見等は議会へ

(匿名によるご意見等はお受けすることができません)

# 平成24年 第1回定例会



平成24年第1回定例会は3月8日から3月21日まで開催し、議案29件、同意2件、発議3件を審議し、全て原案を可決、同意しました。

## 主な内容

### 補正予算

- 平成23年度宇多津町一般会計補正予算(第4号)  
(2895万円減)  
**全会一致で可決**
- 制度改正で子ども手当費減額
- 宇多津小学校耐震改修等工事

### 24年度予算

- 平成23年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)  
(1億6411万円)  
**全会一致で可決**
- 平成24年度宇多津町一般会計予算  
**全会一致で可決**
- 子ども医療費自己負担分の助成  
(小学校3年生まで)
- 共助の社会づくりのためのモデル事業

### 条例改正等

- 町民体育館の耐震改修工事設計費
- 自主防災組織への資機材の支援
- 井戸掘削の工事費一部負担
- 太陽光発電システム設置に補助金
- 地籍調査(吉田、大橋地区から)
- まちづくり事業運営支援
- 宇多津幼稚園修繕等工事
- ユープラザの照明や音響設備の整備
- 宇多津町介護保険条例の一部を改正する条例  
**全会一致で可決**
- (要旨) 平成24年度から平成26年度までの介護保険率を設定する。平成23年度の保険料基準月額4883円が5075円となる。

・宇多津中学校校舎増築等工事（建築工事）請負変更契約の締結  
**全会一致で可決**

（要旨）環境改善工事の交付金が決定したため、中庭を除く外壁を吹き替える。

・宇多津町公共下水道川東雨水ポンプ場等長寿命化対策工事委託に関する基本協定の締結  
**全会一致で可決**

（要旨）長寿命化対策工事のために平成28年度まで日本下水道事業団と協定する。

・宇多津町企業誘致条例の一部を改正する条例  
**賛成多数で可決**

（要旨）まちづくり会社が地域活性化に資する事業として、倒産もしくは閉鎖された施設を再開するにあたり、事業の健全な遂行を確保するため、条例の関係箇所を整備する。

△反対理由▽ 改正が不十分であると思われるし、別の条例をつくり対処しても良いのではないか。

発議

・宇多津町議会基本条例の一部を改正する条例  
**全会一致で可決**

（要旨）地震等の災害が発生した時に、町災害対策本部と連携し災害対策活動を支援するとともに、議員自らが迅速かつ適切な対応を図るため。

本会議 議員の賛否

○. 賛成 ×. 反対 欠. 欠席（議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する）

主 な 審 議 案 件		西本	濱中	柴村	宮本	大松	池田	青木	藍川	井原
議案	平成23年度宇多津町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成23年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
	平成23年度宇多津町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成23年度宇多津町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成23年度宇多津町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成23年度宇多津町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成24年度宇多津町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成24年度宇多津町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成24年度宇多津町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成24年度宇多津町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成24年度宇多津町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成24年度宇多津町はなの森墓地公苑整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	平成24年度宇多津町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	宇多津町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	宇多津町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	宇多津町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	宇多津町消防団条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	宇多津中学校校舎増築等工事（建築工事）請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	公共下水道川東雨水ポンプ場等長寿命化対策工事委託に関する基本協定の締結	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○
宇多津町企業誘致条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	○	-	○	○	
発議	宇多津町議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	宇多津町議会基本条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○

平成24年度予算

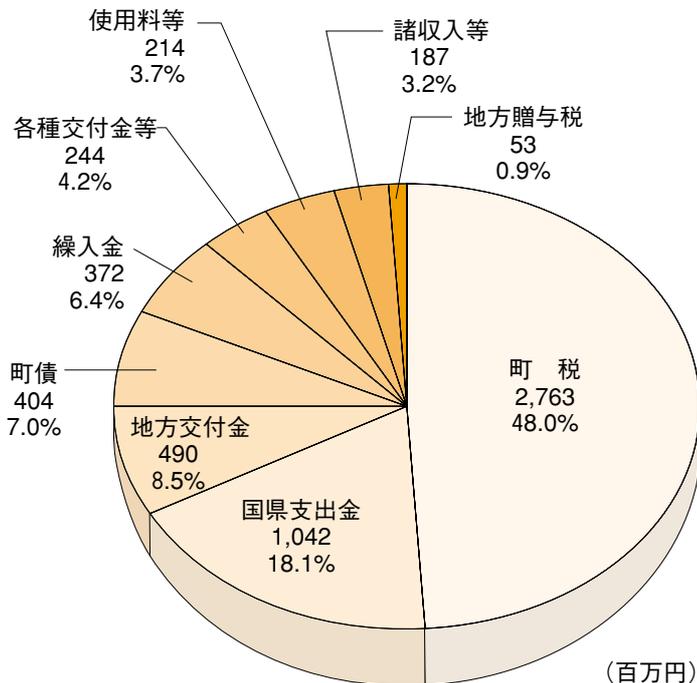
会計名		本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較
一般会計		57億6,900万円	62億7,400万円	△ 5億500万円
特別会計	国民健康保険	14億2,000万円	13億7,200万円	4,800万円
	老人保健	—	200万円	△ 200万円
	介護保険	8億9,400万円	8億5,800万円	3,600万円
	後期高齢者医療	1億4,400万円	1億3,900万円	500万円
	下水道事業	9億8,700万円	9億9,200万円	△ 500万円
	はなの森墓地公苑整備事業	1,000万円	1,000万円	—

水道事業会計	収入	支出
本年度収益的収入及び支出	3億6,000万円	3億5,700万円
前年度収益的収入及び支出	3億7,000万円	3億5,200万円
比較	△ 1,000万円	500万円

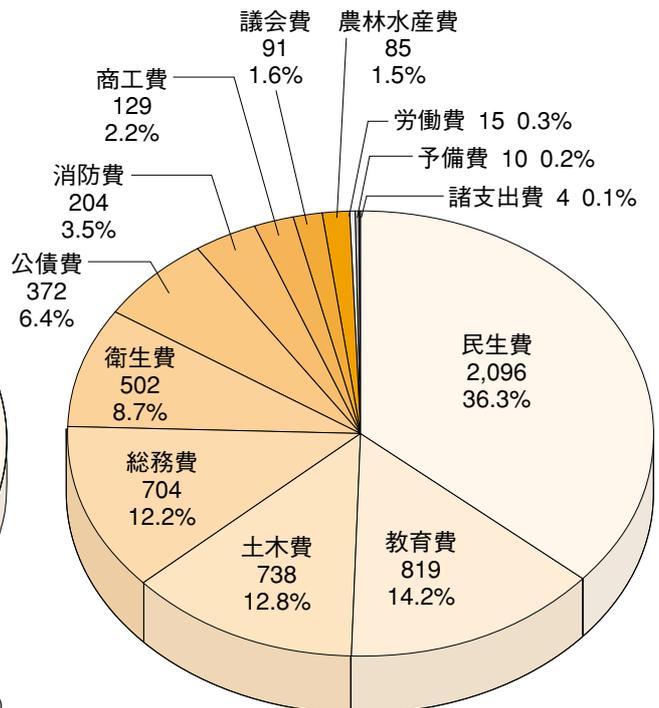
検証

一般会計 57億6,900万円の使い道

歳入



歳出



## 電力不足に対し町の将来エネルギー対策は



宮本 隆 議員

**Q** 四国電力は全原子力発電の停止に伴い電力不足は必ずである。

電力需要は夏場にピークを迎え、主な原因は空調の電力利用である。そこで効率が悪くなった庁舎の空調設備の改修計画は。また電気以外を利用するお考えは。

**A** 谷川町長

中期財政計画で、庁舎耐震化工事を平成27年度に予定している。庁舎空調設備の改修計画は、この耐震化工事に併せて一体的な改修を検討している。改修には多額の費用がかかるため、議会でも庁舎の耐震化等の議論をお願いしたい。庁舎のエネルギー対策は、燃料電池発電や振動発電等いくつかあるが、なかでも太陽光発電がまず考えられる。現在、庁舎屋上に太陽光発電システムを設置しているが、それを更に拡大することも一つの手段ではないか。

**Q** 災害避難所でのエネルギー対策は

避難所のエネルギー対策について、ライフラインが寸断し使えない状況になれば避難所としての役割を果たせない。

避難所となる施設に「瓦斯災害用バルク設備」の設置を検討しては。

**A** 谷川町長

LPガスは、災害時に電気や都市ガスが寸断されたとき、ボンベなどによる分散型供給で迅速に復旧・対応できる代替エネルギーとなる。この特性は、新潟県中越沖地震などで発揮され、災害時に有効であると認識されている。災害対策用バルク設備を設置すれば、普段は光熱エネルギー源として利用でき、災害時には炊き出し、暖房、電源エネルギーとして利用できる。ただし、LPガス以外の熱源を利用している施設では、バルク設備設置による有効性と費用の観点からの議論が必要であり、住民の皆様からも意見を聞いてみたい。

## 就学援助制度の給食援助を全額にできないか



大松喜次郎 議員

**Q** 本町は他市町に比べて準要保護割合が高い。要因と傾向及び今後の見通しはどうか。

学校給食援助を5%ずつ増加して80%であるが、丸亀市や坂出市のように全額援助ができないか。また、修学旅行費の全額援助はどうか。

**A** 亀井学校教育課長

町の準要保護割合が高い要因としては、厳しい経済状況の中で所得水準が低迷しているとともに、特に町ではひとり親家庭が増加していることである。近年の推移から今後も引き続き増加傾向にあると推測している。学校給食援助は、平成24年度は85%に引き上げる予定である。今後も近隣の市町と大きな隔たりがないよう財政状況も踏まえて検討したい。修学旅行費の援助額は、国の要保護児童の予算単価を基準としている。現時点では、これを引き続き継続したいと考えている。

**Q** 町の標識と工作物の維持管理は万全か

道路上にあるカーブミラー、道路照明灯をどのように点検管理しているのか。また、耐用年数はどれ程なのか。そして、設置年月日や点検と補修を記録した台帳の整備をしているのか。

**A** 藤原住民生活課長

カーブミラーの保守点検管理は、年1回町内全てのカーブミラーを清掃・点検している。ポールの平均耐用年数は、10年程度である。台帳は、新設や修理したものは整備している。

**A** 松井建設課長

道路照明灯の全体の総点検は、平成13年に実施した。通常点検は、電球交換時に確認している。耐用年数は、10年から15年である。台帳は、図面・写真・問題部分等について整備しているが、今後は修繕経過等を記録していきたい。

他に自転車の安全利用対策について質問した。

# 大東川の整備と環境について



池田弘昌 議員

**Q**

自然石での石積み護岸が仲の橋までできているが景観もよくなり護岸の補強と環境面もよく、続けて検討しては。また不法投棄の監視活動の強化や看板の設置など、関係市町への呼びかけについて。

**A**

谷川町長

大東川護岸整備は平成20年度から23年度にかけて新町橋から仲の橋までを河川改修した。仲の橋から県道33号線の大東川橋までの堤防の傷みもあるため、河川管理者の県に対し整備を要望している。大東川は、水環境保全のため流域の市町である丸亀市、坂出市、宇多津町や県などの関係団体が構成員となり、大東川流域水環境保全推進協議会が設置されている。啓発活動として、クリーンウォークなど実施している。今後も各市町が連携を図りながら、引き続き不法投棄の防止活動や保全意識の啓発・普及を行っていききたい。

**Q**

下水道の受益者負担金について

南部地区に下水道が整備されているが、負担金の算定方式と賦課はいつなのか。宅地の広い方には考慮しては。また減免についてはどうなるのか。

**A**

中村水道課長

1㎡当たりの負担金は、現在200円である。賦課の時期は、下水道工事完了の翌年度で、例年6月末頃、各受益者に納付書を送付している。宅地面積が大きい1000㎡、1500㎡の受益者にも従前から面積に応じて負担金をいたしている。負担の公平の原則から現制度を引き続き運用したいと考えている。町の減免措置は、公共用地や私立学校・福祉施設用地などの公共性の高い用地、生活扶助を受けている方を減免対象としている。また、農地や災害を受けた場合などには徴収猶予の制度もある。

# 地域活性化に関する検討・調査業務の評価は



藍川佳津樹 議員

**Q**

水族館に代わる活性化策を、日本総研に約800万円を委託したが、報告書は総花的で、町の特性を検討したとは思えない凡作ではないか。この報告書について①評価②活用方針③将来の展望の3点について伺いたい。

**A**

北本政策調整室長

報告書は、地域活性化の取り組みの仕組みづくりが必要であると提示で示されている。また、仕組みづくりのためのスタッフの準備、まちづくり会社準備室の立ち上げというこれまでの受託者にはない支援があり、現にまちづくり会社が立ち上がりつつあり、評価できるものと考えている。今後の活用方針は、まちづくり会社を立ち上げることが前提であり、その会社の活動が始まることを切に願っているところである。将来展望は、現在新都市の活性化で最も重要な課題はビブレの存続であり、当面はビブレの再整備に向け支援を行っていききたい。

**Q**

町営住宅の中長期的管理方針

募集停止の古い町営住宅について町有財産の効率的かつ公平運用の観点から①各団地の資産評価額②募集停止住宅の今後の管理方針③統廃合による管理の効率化と資産活用について伺いたい。

**A**

谷川総務課長

町営住宅の資産評価額は、国の公会計制度に基づき平成22年度3月末時点で、土地・家屋あわせて約20億5800万円と算定している。

**A**

松井建設課長

募集停止住宅は、現在基本的に退去後の空き家になった時点で随時解体撤去することとしている。今後の管理方針は、様々な状況を勘案し何戸の町営住宅が町内に必要であるかなどを再検討し、決定しなければならぬと考えている。結果的に用途廃止や統廃合が必要でない用地は、旧平山団地のように売却し、民間による再活用を検討していく。

## ビブレ量販店について

**Q** ビブレの年間収容人数について  
 いただいたい。ビブレの売り上げ予測についても伺いたい。瀬戸大橋関連で180haの塩田で250億円の埋立費と4割の塩田埋立用地交換、国の優良企業を斡旋し新都市が完成した。ビブレ量販店が誘致対象となり30余年が経過した。坂出市は中心市街地の繁栄、宇多津町の新都市街地は繁栄と量販店は必至である。宇多津町新都市を退化させないために谷川町長はどういう施策を行うのかお尋ねしたい。

**A** 谷川町長

現在ビブレを取り巻く環境は、近隣に大型集客施設ができ、そのような施設などに人が流れているような状況である。新都市の核は、やはりビブレやゴールドタワーであり、それらを中心とした活力あるまちづくりが必要である。昨年から官民一体となった新都市のまちづくりについて検討を進めているが、ビブレが撤退はすればあらゆる観点から非



井原猛雄 議員

常に損失である。そのため、町にとつてビブレが重要な存在であることをイオンにも訴え、引き続き存続してもらえよう最善の努力をするとともに、行政としてできる限りの支援をしていきたいと考えている。

(その他の質問)

- ・青ノ山の三つ岩・聖通寺山のゆき岩の三生石について
- ・中学3年生までの医療費の無料化について

## 特定不妊治療費の助成について伺いたい

**Q** 高松市以外は県レベルで実施されているが、本町ではどのように対応しているのか。窓口に来ることさえも勇気のことだが、その際の対応は適切か。また、その他の少子化対策について伺いたい。

**A** 山下健康増進課長

申請は居住地を管轄する保健所に必要書類を提出するため、町に問い合わせなどがあれば、中讃保健福祉事務所を紹介している。窓口に来られた方には、ご理解いただけるような対応を心がけている。その他の少子化対策は、健康増進課や保健福祉課で、出産前の栄養指導や分娩準備指導などのマタニティセミナー、出産後は定期的な乳幼児健診、育児の相談や教室、ファミリーサポートセンター事業、保育所での延長保育などを実施している。平成24年度は、新規事業として妊婦歯科健診、子ども医療費助成事業を開始する予定である。

**Q** 担当課以外の町職員も、イベント参加を



西本祐子 議員

「うたつの町家とおひなさん」は今や町を挙げてのイベントとなっている。中学生を始め多くの町民がボランティアとして携わっているが、町職員にも、もっとお手伝い頂きたい。

**A** 合田産業振興課長

地域に様々な行事がある中で、地域でできることは地域の皆様で互いに支え合う精神のもと、連携を図りつつ事業に取り組みることが大切であると考えている。9回目となった「うたつの町家とおひなさん」も実行委員会をはじめ、皆様の協力により成功裏に終わったところである。この事業は住民の提案により自ら事業計画を立て、地域一体で楽しめる場や交流の場として開かれ、住民主体のまちづくり事業の一環であると職員一同認識している。町職員は、駅での来場者案内や臨時駐車場などの役割で30数名が毎年事業に参加している。

他に、中学校の修学旅行先に被災地への検討を質問した。

## 中学校のクラブ活動について

**Q** 中学校のグラウンドでは、サッカー部、女子ソフトボール部、

野球部が混在してクラブ活動を行っている。が、使用状況を見てみると大変危険な状態である。そこで、小学校の運動場で練習することは可能か。

**A** 亀井学校教育課長

宇多津中学校では、現在グラウンドでサッカー部、女子ソフトボール部、野球部が同時に練習するには十分な広さではないため、練習メニューにより他の部に事前通告し、互いに協力しながら支障がないよう工夫している。宇多津小学校や北小学校でのグラウンド利用については、中学校から離れたところでの先生の監督、用具の保管場所、芝生対策、各小学校の午後5時以降の一般への貸し出しなど、小学校の利用に對し克服すべき多くの課題がある。今後、部活動の状況等を十分踏まえながら学校側と協議検討したい。

**Q** 防犯灯について

夜間町内を廻ると防犯灯の光が足元まで届いていない所がある。LED外灯になっている所は、大変明るい。そこで年間にLED外灯に変える数量を伺いたい。

**A** 藤原住民生活課長

町内の防犯灯は、定期的な巡回や自治会、住民からの通報により蛍光灯管の交換や修理を行っている。その際、器具等が古いもの、破損しているものはLEDのタイプに交換している。新規についてもLEDタイプで設置している。平成23年度から実施し、現在までに47基を設置している。今後も同様に交換・設置を進めていきたいと考えている。



濱中保夫 議員

## 防災に対する危機管理課の方針等を伺いたい

**Q** 東日本大震災から1年経過したが、4月1日危機管理課が施行され組織的に始動することになった。南海等の巨大地震・風水害等に対する防災対策が早急に必要なが。

**A** 谷川町長

4月から機構改革で危機管理課を新たに設置し、東南海・南海大地震などに備えるための危機管理体制の充実や災害時での住民の方々の意識啓発に取り組んでいく。住民全員が手を取り合いながら自分たちの命を守るという方向づけをしていきたい。そのため、新規の自主防災組織の立ち上げや既存組織の防災訓練を充実させ、組織に対する助成や防災意識の啓発・啓蒙活動に努めたい。地域防災計画の見直しも速やかに修正するとともに、津波に対する高所避難所の指定も進めていく。町としては、全力で危機管理に努めていきたい。

**Q** 子育て支援策の環境整備を

チャイルドシートと3人乗り自転車の無料貸出しは少子化対策の一環として、経済的負担を軽減するため、必要ではないか。

**A** 高瀬保健福祉課長

チャイルドシートのレンタルと助成の両方を実施している団体に現状を聞くと、レンタルは形が古くなり、安全面を含めた保管・管理などの問題があり、助成の方向にシフトしているということであった。3人乗自転車レンタルについても同様の問題があると考えている。レンタルとは別であるが、それらの購入助成事業を行っている市町もある。チャイルドシートや3人乗自転車のレンタル事業実施は、子育てをしている方のニーズを把握するとともに、子どもの命を乗せるものであることから、安全対策が十分にとれる管理・保管方法について、また同時に購入に対する助成についても勘案しながら検討したい。



柴村賢三 議員

## 第4回「議会報告会」

4月19日（木）午後7時から保健センターにおいて「第4回議会報告会」を開催しました。午後から雨になったためか、前回より参加者が減少しました。

この報告会は、各常任委員長が概要説明をし、平成24年度予算を中心とした主要施策を各議員が報告しました。その後フリートークがあり、参加者から質問・意見・要望等がありました。

・ 中学校増改築等工事進捗状況及び幼稚園耐震工事

・ 宇多津ソーニョンシステム

・ 上下水道の計画

### 質問等

・ 町財政の借金返済について

・ 公債費の償還内容はどうなっているのか

・ 救急救命士の役割・勤務状況・坂出消防署との関係等について

・ 新都市のビブレの現状と支援について

・ 子ども医療費について

・ 中学3年生まで医療費無料化の方針は

・ 防災行政無線付きラジオの導入についてとラジオは発信機能があるのか

・ 鍋谷から県営に通じる道路は、車の駐車場になって危険であるが管理をどこがしているのか

町民の方の貴重な意見・質問・要望等を受け、よりよいまちづくりに議員一丸となり、真剣に取り組まなければならないと痛感しました。今後も、皆さまから期待される議会を目指します。



## 議会も災害対策マニュアルを制定

昨年の東日本大震災の大惨事を目の当たりにして、災害が発生した場合に議員がどのように行動するべきかを検討しました。そこで、議員各々でなく議会が一致して対応するように災害対策のマニュアルを定めました。宇多津町議会災害対策本部を設置し、被災地や避難所等の調査や救援諸活動等で町対策本部に協力するものです。



### 報告

総務民生常任委員会の報告

・ 平成24年度予算の概要

・ 国民健康保険

・ 介護保険・後期高齢者医療

・ 防災関連

建設教育常任委員会の報告

・ 常任委員会における主な施策概要

策概要

# 『小さくても、広がる自治の姿』 第3回全国コンパクトタウン議会サミット

2月9日（木）に岐阜県岐南町総合健康福祉センターで開催され、全国の11町議会68名が参加した。各町の問題点や取り組みについて、三分科会で議論を交わした。

毎年全国各地から集まる小さな町の現状を知る機会があり、多くのことを学び、そこで得たことを自町に持ち帰り活かさなければいけない。参加して終わりではなく、次のステップに移さなければならないと考えている。

## 基調講演

元岐阜県多治見市長で山梨学院大学教授の西寺雅也氏が講演された。講演では「首長は政治的なりーダーであり、行政の長である。小さな自治体では町民が参加しやすい反面、首長が暴走する危険性がある。元来、住民の意見を議会が町長に提案していたが、最近では住民と首長が一体となり、議会を軽視することもある。議会は、行政に要求するだけでなく、情報の在り

方についても提案することが必要である。」という話があった。

## 第1分科会

### 子育て支援

- ・どの町でも、ファミリーサポートセンターや居場所づくりには力を入れていた。
- ・岐南町、笠松町では病児病後児保育にも取り組んでおり、近隣の市との広域連携で勤務地保育を行うて、うまくいっている。
- ・勤務地保育は現在の保育園を維持していく上でも、ぜひ検討したい。

### 高齢者対策

- ・介護保険料は小さな町ほど一人当たりの負担が増加し、値上げ幅が大きくなる。
- ・岐南町では、新たに高齢者住宅などを建てる場合は、町民しか入れないようにする。
- ・高齢者向けの介護予防教室と子育て支援のコラボは、取り入れる価値がある。

## 第2分科会

### 議会改革への取り組み

- 議会基本条例  
参加自治体の半数が既に制定しており、その他も全ての自治体で準備が進んでいる。今後の課題として、条例の理念をいかに優位に活かすかとなる。
- 政務調査費  
6町で制定。費用弁償を廃止し、政務調査費に変えたいとの意見があるが、町民に理解していただくのは難しい。しかし、用途を公開し使用できる項目を明確にすれば理解を得られるのでは。
- 議会だより  
10町が発行。議員のみで構成している町も多い、議員活動を議会だよりという形で出すことは、必要だとの意見が多かった。

## 第3分科会

### 防災対策

宮城県七ヶ浜町の参加も有り、災害発生時や復旧までの間、議会

及び議員としての役割、行動についての意見交換が活発に行われた。最終的には、非常事態において、住民に何が出来るか、何をすればいいのかを真剣に取り組むという結論に達した。

### 広域連携

近隣の自治体との連携も大事だし、遠隔自治体とも友好的な関係を持つということであった。

住民一人ひとりが防災について考えるところにも防災訓練、自主防災組織を確立し、自然災害の減災に努めること。そして、住民の財産を守る責務があることを痛感した。



## おいでました

平成24年4月18日(水) 鹿部町議会 11名

●町の概要●

北海道南端、渡島半島の東部駒ヶ岳山麓に位置し、函館市に隣接  
面積は宇多津の約13倍  
ここ数年人口は微増傾向  
基幹産業は漁業

●視察内容●

景観まちづくりについて

町が平成15年度から取り組んでいるまちづくりの歩みについて、2年ごとにまちづくりシンポジウムを4回開催、18年度よりまちづくり委員会による住民主体のまちづくり、その後景観計画策定の経緯、位置づけ、条例の運用等。

特産品開発について

町が塩田で栄え発展してきたこと、昭和47年に塩田が全廃し今では塩の町であったことを忘れないよう復元塩田で製塩し、製品化し塩あめ、塩キャラメルを開発。また農家と連携し、古代米(黒米)を収穫し、地元酒造会社の特産品の開発を依頼。古代米使用の日本酒を開発した経緯。



## 子ども議会

2月14日に開催され、町内の小中学生37名が参加しました。この取り組みは、子どもたちが議会の仕組みと自分たちの生活を結び付け、調べたことなどを通して町づくりに参加できるように、また議会を体験することで町に愛着を感じるようにと、毎年行われています。質問者は事前にアンケートを実施したり、実際に現地調査をしたりと、大人にとっても学ぶことの多い「子ども議会」となりました。

### 【宇多津小学校】

#### 「みんなの公園に時計を」

全校児童にアンケートを実施したら、公園に時計がなくて困るという意見が多かった。主な公園への時計の設置を。また、お年寄りのためのベンチや日よけを作してほしい。

### 【宇多津北小学校】

#### 「新都市の歩道を安全に」

北小校区の歩道や遊歩道の傷みがはげしい、レンガが外れたり盛り上がりたりして危険なので、修理して安全にしてほしい。また歩道橋などに水たまりもあり、歩きにくい。

### 【宇多津中学校】

#### 「町内に総合運動公園を」

広い運動公園があれば、町の活性化と町民の健康維持につながる。また、災害時には避難場所にも使えるので、ぜひ作って欲しい。



# 元気なほかきグループ紹介

## 「うたづ遊友健康づくりの会」

### 1 目的

この会は、町民の方が生涯にわたって、健やかに明るく楽しく生きがいを持って、幸せに暮らせるよう日常生活の中に健康運動及びボランティア活動を取り入れ、仲間作りをしながら、心豊かに健康的な生活を営むことを目的としています。

また、健康であれば医療費の削減になり、町の財政にも貢献するという趣旨でつくられたグループです。

2 平成10年に創立、今年で14年になります。

3 会員は、現在38名です。次の4項目の活動をしています。

#### (1) 「健康体操」

町の健康体操に協力し、健康ウォークを年2回（春・秋）開催しています。

#### (2) 「ボランティア活動」

餅つき大会・町等の行事にも参加しています。

#### (3) 「貸農園での野菜づくり」

家庭菜園的な野菜づくりを楽しんでいます。



#### (4) 「男性料理教室」

料理教室を年2回程度行っており、男性の自立を目標に楽しく家庭料理作りに挑戦しています。

4 会員が約3反（約30アール）の水田で田植えなど行い、収穫したお米（普通米・餅米）でお寿司、餅などを作り、楽しくいろいろな行事等に参加しています。

また、「うたづ遊友健康づくりの会」は、定期的な研修会・懇親会など、楽しく、みんな元気で笑顔の素敵なグループです。

## 主な議会活動

- |     |                              |
|-----|------------------------------|
| 9日  | 第3回コンパクトタウン議会<br>～ サミット（岐南町） |
| 10日 | 子ども議会                        |
| 14日 | 議会運営委員会                      |
| 20日 | 臨時議員総会                       |
| 29日 |                              |
| 2日  | 議会運営委員会<br>全員協議会             |
| 5日  | 定例会                          |
| 8日  | 一般質問                         |
| 9日  | 一般質問                         |
| 12日 | 総務民生建設教育合同委員会                |
| 13日 | 総務民生建設教育合同委員会                |
| 14日 | 総務民生建設教育合同委員会                |
| 15日 | 総務民生常任委員会                    |
| 16日 | 総務民生常任委員会                    |
| 19日 | 建設教育常任委員会                    |
| 21日 | 全員協議会 本会議<br>広報委員会編集会議       |
| 30日 | 教職員離任式                       |
| 2日  | 教職員着任式                       |
| 3日  | 定例議員総会                       |
| 17日 | 広報委員会編集会議                    |
| 18日 | 鹿部町（北海道）視察来庁                 |
| 19日 | 議会報告会                        |

## 編集後記

3月4月は第一回定例会、卒業卒園式、入学入園式、各総会、議会報告会と慌ただしく過ぎていきました。今、一年で一番さわやかな季節を迎え、美しい春の日を十分謳歌したいものです。

「議会だより」は、議員の賛否の掲載や色変えや写真の撮り方など工夫をしてきました。今回からは新たに「元気な仲間」を裏面に載せることにしました。限られた予算を守りながら、編集会議の回数を増やし、多くの住民に愛読されるように努力していきます。（K・D）

### 議会広報特別委員会

- 委員長 大松喜次郎
- 副委員長 宮本 隆
- 委員 柴村 賢三
- 委員 濱中 保夫
- 委員 西本 祐子